

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【公開番号】特開 2018-195258 (P2018-195258A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2017-100979 (P2017-100979)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

B 6 5 H 31/24 (2006.01)

B 6 5 H 31/26 (2006.01)

B 6 5 H 31/00 (2006.01)

B 6 5 H 31/10 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 D 9/00 4 1 3 Z

G 0 7 D 9/00 4 0 3 C

B 6 5 H 31/24

B 6 5 H 31/26

B 6 5 H 31/00 Z

B 6 5 H 31/10

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 25 日 (2019.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

そのような紙幣処理装置においては、図 2 4、図 2 5 及び図 2 6 に示す紙幣処理装置 1 0 0 1 のように互いに同様に構成された 2 個の出金部 1 0 0 4 (出金部 1 0 0 4 a 及び出金部 1 0 0 4 b)とを有するものがある。出金部 1 0 0 4 a は、図 2 4 に示すようにアップガイド 3 2、ロアガイド 3 4、シャッタ 3 0 及びステージ 3 8 により囲まれた空間が、紙幣 B L を一時的に蓄積する空間である集積空間 4 0 を形成している。シャッタ 3 0 の後面である内側には、ビルストッパ 5 2 が設けられている。集積空間 4 0 に放出された紙幣 B L はビルストッパ 5 2 に衝突し勢いが吸収され、ステージ 3 8 上に集積される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

紙幣処理装置 1 0 0 1 は、入金時において、出金部 1 0 0 4 (出金部 1 0 0 4 a 及び 1 0 0 b) のシャッタ 3 0 が閉鎖した状態で入金部 3 から紙幣 B L を内部へ繰り出して計数等を行う入金計数処理を行う。紙幣処理装置 1 0 0 1 は、入金計数処理において、入金可能と判定された入金可能紙幣を一時保留部 に搬送して一時的に収納する一方、入金不可能と判定された入金リジェクト紙幣を出金部 1 0 0 4 a 又は 1 0 0 4 b へ搬送して集積させ、入金計数処理を完了する。その後紙幣処理装置 1 0 0 1 は、入金収納処理へ移行し、シャッタ 3 0 を開き、入金リジェクト紙幣を使用者に取り出させる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 1】

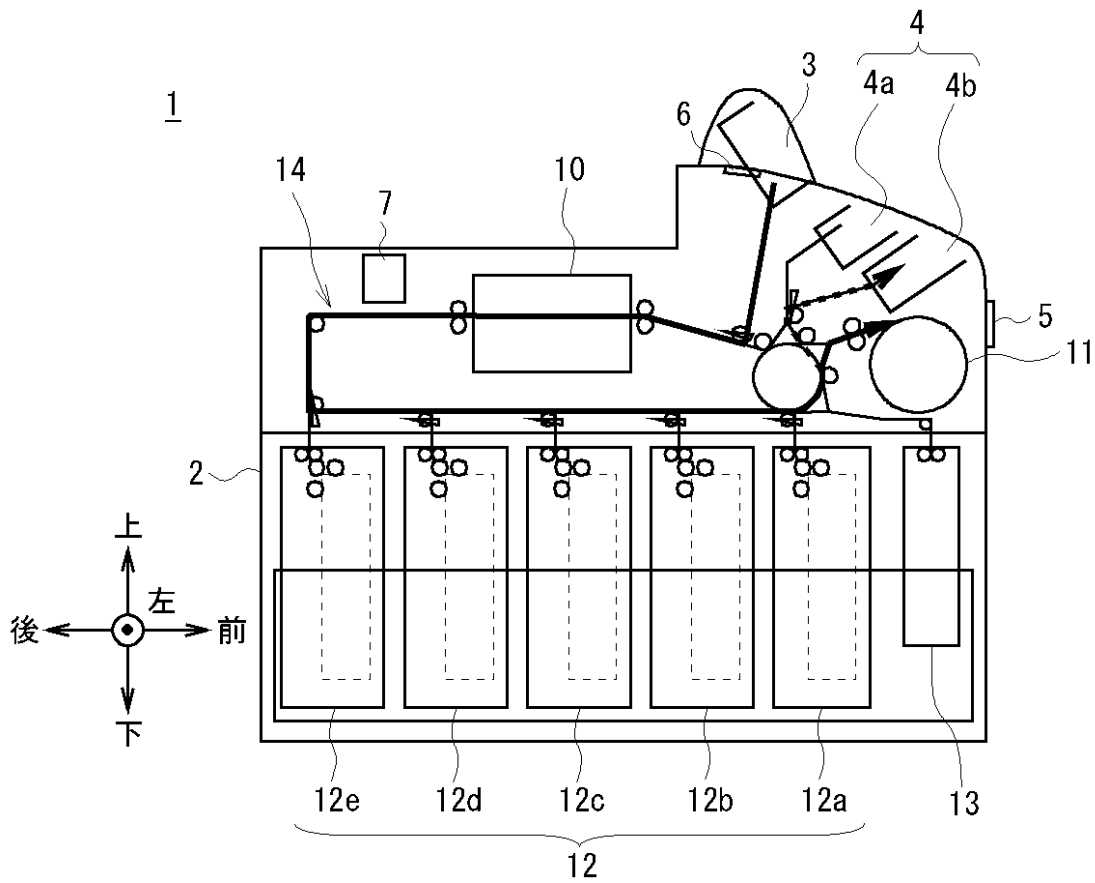


図 1 1